

平成21年度 転学類の受入れについて

本学では「学則第64条」に基づき、転学類（学生が所属する学域以外への転学類を含む。）の受入れを下記のとおり実施します。

1. 転学類について

- (1) 転学類の出願は、一般選抜試験により入学した者としてします。
- (2) 複数の学類への出願はできません。
- (3) 転学類が認められなかった場合は、翌年度に再度出願することはできます。
- (4) 医薬保健学域の医学類、薬学類及び創薬科学類は、転学類の受入れを行いません。

2. 選考方法等について

転学類の出願要件，選考方法等は，別紙「**転学類の選考方法等について**」のとおりです。

3. 出願期間

受入れ学類	出願期間
人間社会学域の各学類	平成20年10月20日(月)～10月31日(金)
理工学域の各学類	平成20年12月8日(月)～12月12日(金)
医薬保健学域の保健学類	

4. 手続き等について

転学類を希望する学生は、出願期間内に希望学類及び所属学類の学務係へ申し出の上、必要な手続きを行ってください。出願期間内であれば出願を取り下げること、又は希望の学類を変更することは可能です。

なお、手続き等の詳細は、随時掲示等で案内します。

希望学類		申し出先（問い合わせ先）	
人間社会学域	人文学類，国際学類	角間北地区事務部学生課学務第一係	電話 076-264-5455
	法学類	角間北地区事務部学生課学務第二係	電話 076-264-5456
	経済学類	角間北地区事務部学生課学務第三係	電話 076-264-5457
	学校教育学類，地域創造学類	角間北地区事務部学生課学務第四係	電話 076-264-5603
理工学域	数物科学類，物質化学類	角間南地区事務部学生課学務第一係	電話 076-264-5634
	機械工学類，電子情報学類，環境デザイン学類，自然システム学類	角間南地区事務部学生課学務第二係	電話 076-234-6831
医薬保健学域	保健学類	宝町地区事務部学生課学務第二係 (鶴間キャンパス)	電話 076-265-2515

[別紙]

転学類の選考方法等について

人間社会学域

学 類 名	人文学類	法学類	経済学類	学校教育学類	地域創造学類	国際学類
受入れ上限数	14人	17人	18人	10人	8人	7人
受入れ時期	2年前期開始時					
出 願 要 件	入試成績	条件としない。				
	入学後の成績等	16単位以上修得 GPA2.0以上	16単位以上修得 GPA2.5以上	16単位以上修得 ・大学・社会生活論, 初學者ゼミ,情報処理 基礎を修得済みである こと。	16単位以上修得 GPA2.0以上 ・共通教育科目の免許法指 定科目(情報処理基礎,日 本国憲法,外国語,体育) のうち,外国語コミュニケ ーション(2単位)を含む4単位 を修得済み又は履修登録 中であること。 ・教師論(期)を修得済み 又は履修登録中であるこ と。	16単位以上修得 ・大学・社会生活論,初学 者ゼミ,情報処理基礎を修 得済みであること。 ・1年後期に開講される必 修の学類共通科目(福祉マ ネジメント論,環境共生論, 地域プランニング論,健康 スポーツ論)から2科目以 上(希望するコースの科目 を含めること)を履修登録 中であること。
選考方法	受け入れ上限数を超えた場合は,GPA値により選考する。	学力試験(筆記試験)及び面接試験を実施する。	1年前期のGPA値及び学力試験(筆記試験),面接試験の結果で総合的に判断する。	面接試験を実施する。	受け入れ上限数を超えた場合には,GPA値及び面接試験により選考する。	GPA値及び面接試験により選考する。

注 (1)転学類の選考に合格した学生は,転学類を辞退することはできません。

(2)人間社会学域への転学類の選考に合格しても希望するコース(専門分野・専修)に所属できるとは限りません。

[別紙]

転学類の選考方法等について

理工学域

学類名	数物科学類	物質化学類	機械工学類	電子情報学類	環境デザイン学類	自然システム学類	
受入れ上限数	4人	2人	7人	5人	4人	5人	
受入れ時期	2年前期開始時						
出願要件	入試成績	大学入試センター試験の比較しうる科目の合計点が学類入学者の最低点以上であること。	大学入試センター試験の数学，外国語，化学を選択しており，その成績が学類で定める基準以上であること。	大学入試センター試験の数学，物理，外国語を選択しており，その成績が学類で定める基準以上であること。	大学入試センター試験の数学，物理を選択しており，その成績が学類で定める基準以上であること。	大学入試センター試験の数学，物理又は化学を選択しており，その成績が学類で定める基準以上であること。	大学入試センター試験の数学，理科，外国語を選択しており，その成績が学類で定める基準以上であること。
	1年次の修得科目	共通教育科目の必修基礎科目のうち以下の科目を修得していることが望ましい。	共通教育科目の基礎科目のうち以下の科目を修得していること。				
		微分積分学第一， 微分積分学第二， 線形代数学第一， 線形代数学第二， 物理学，物理学	微分積分学第一， 微分積分学第二， 線形代数学第一， 線形代数学第二， 物理学，化学， 物理学，化学	微分積分学第一， 微分積分学第二， 線形代数学第一， 線形代数学第二， 物理学，物理学， 化学又は化学	微分積分学第一， 微分積分学第二， 線形代数学第一， 線形代数学第二， 物理学，物理学	微分積分学第一， 微分積分学第二， 線形代数学第一， 線形代数学第二， 物理学，化学， 物理学又は化学	微分積分学第一，線形代数学第一， 物理学，化学，生物学， 地学 及び以下から1科目以上 微分積分学第二，線形代数学第二， 物理学，化学，生物学， 地学
選考方法	学力試験（筆記試験）及び面接試験を実施し，選考する。	コース毎に口述試験を実施し，選考する。	口述試験を実施し，選考する。	口述試験を実施し，選考する。	口述試験を実施し，選考する。	学力試験（筆記試験等）を実施し，選考する。	

注 (1)当該学類の2年次在籍者数が，定員を大幅に上回っている場合には，転学類の申請を受付けないことがあります。さらに，学類内のコース所属は当初から当該の学類に入学した学生を優先し，希望者があらかじめ定めたコース標準受入れ数の上限を上回る場合には配属されないことがあります。

(2)特定のコースへの所属希望がかなえられない場合には，転学類そのものを取り下げることができます。

(3)入試成績の条件，1年次の修得科目について条件を満たさない場合であっても，学力試験（筆記試験）を実施して受入れることがあります。

[別紙]

転学類の選考方法等について

医薬保健学域保健学類

専攻名	看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻	理学療法学専攻	作業療法学専攻
受入れ上限数	2人	1人	1人	1人	1人
受入れ時期	2年前期開始時				
出願要件	入試成績	条件としない。			
	入学後の成績等	1年次前期までに共通教育科目は言語科目（英語4単位）を含む16単位以上を修得し、共通教育科目のGPAの数値が2.7以上であることを条件とする。			
選考方法	在学中の学業成績，面接試験（口頭試問を含む。），筆記試験				

注 転学類の選考に合格した学生は、転学類を辞退することはできません。